

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

福島市長 木幡 浩

市町村名 (市町村コード)	福島市 (72010)
地域名 (地域内農業集落名)	松川町地区 (向町・天明根・中町・本町・石合町・石合・原西・原中東・小池・西郷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年11月13日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は農業者の高齢化が進み、専門の担い手の減少や後継者不足により遊休農地の拡大が懸念される。また農地バンクの利用意向が高く田の集約が進められているが、基盤整備していない田や畑の荒廃が課題となっている。加えて鳥獣被害が多く発生しているため、更なる対策を検討する必要がある。

【地域の基礎的データ】

当地区に耕作地を持つ認定農業者:20名 団体経営体:3経営体
主な作物:水稲、野菜類

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域の主要作物である水稲については法人や主要な経営体への更なる集約を進めていくとともに、集約の条件に合わない農地については高収益作物等への転換を図る。また地域内外から新規就農者や新たな担い手の確保に取り組み、農業者だけではなく地域全体で鳥獣被害防止対策や農地を維持管理をしていく仕組みの構築を目指す。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	342 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	342 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

今現在営農されている農地については集積・集約を進め、使われている農地と使われていない農地の区分けをしていく。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

